



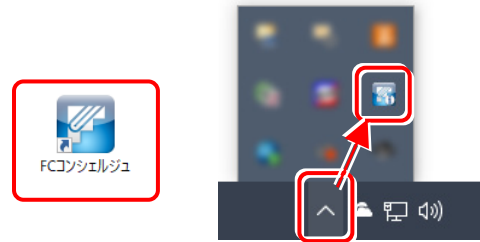
7

セキュリティソフトの除外設定

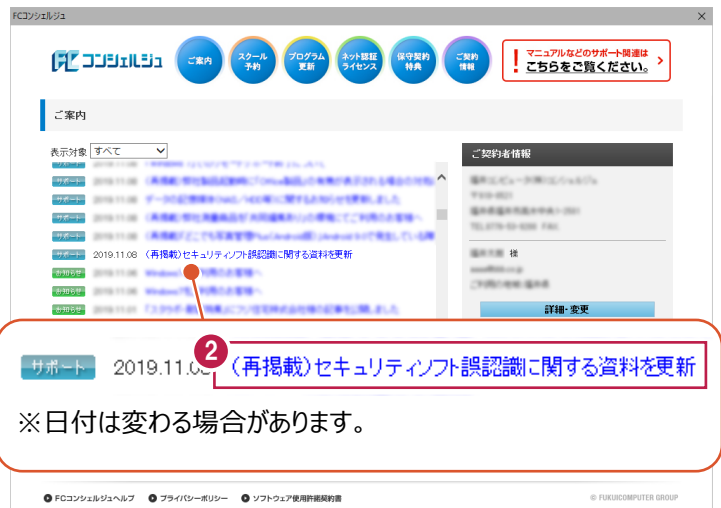
セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

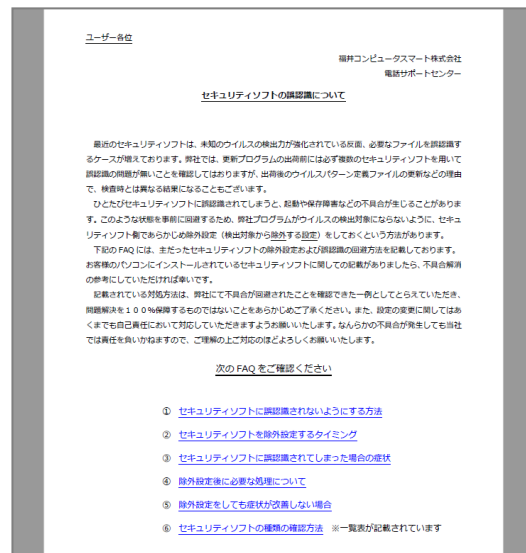
- 1 デスクトップのアイコン、または画面右下のタスクバーの通知領域のアイコンから、「FC コンシェルジュ」を起動します。



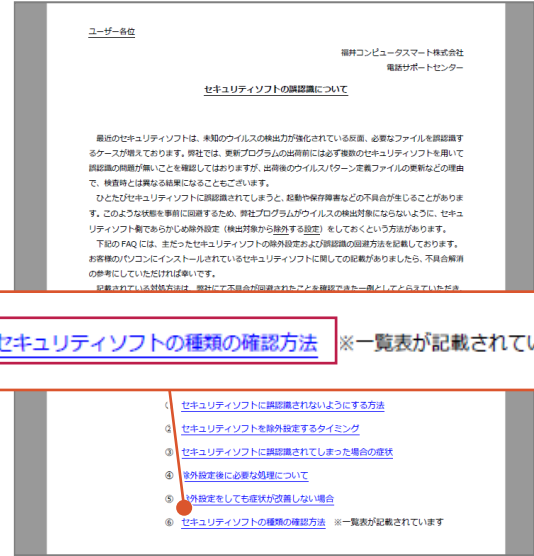
- 2 FC コンシェルジュの「ご案内」にある「（再掲載）セキュリティソフト誤認識に関する資料を更新」をクリックします。
（※ご案内の日付は変わる場合があります。）



- 3 「セキュリティソフトの誤認識について」の PDF が開きます。内容を確認してください。



4 「⑥ セキュリティソフトの確認方法」をクリックします。



5 セキュリティソフトの FAQ が表示されます。

「製品別手順書」で、お使いになっているセキュリティソフトをクリックすると、除外設定の手順書が表示されます。

手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。

FUKUI COMPUTER 起動関連

検索したい語句を入力してください。

起動関連 > セキュリティソフト

プログラム名	起動関連	Ver.	-	ID	SYS0028	更新日	2019/11/22
<p>Q: 自分のPCに入っているセキュリティソフトの種類はどのようにして確認できますか。</p> <p>A: デスクトップや通知領域のアイコン、スタートメニューのプログラム名などでご確認ください。 次の一覧より、各セキュリティソフトの除外設定手順に進めます。</p>							

5

販売元	製品別手順書
トレンドマイクロ	ウイルスバスター クラウド Ver.16 ※NTTレッツウイルスクリア・セキュリティ対策ツールはこちら ビジネスセキュリティ クライアント ビジネスセキュリティ サーバー ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアント) ウイルスバスター コーポレートエディション (サーバー)
シマンテック (ノートン) シマンテック	ノートン インターネットセキュリティ ノートン アンチウイルス ノートン 360 エンドポイント プロテクション エンドポイント プロテクション クラウド
マイクロソフト	セキュリティ エssenシャルズ マイクロソフト ディフェンダー Windows セキュリティセンター
ソースネクスト	ウイルスセキュリティ ゼロ スーパーセキュリティ ゼロ
カスペルスキー	インターネット セキュリティ (アンチウイルス) ※@Niftyの常時安全セキュリティ24はこちら エンドポイント セキュリティ
マカフィー	リブセーフ インターネットセキュリティ Ver.16